

環境・社会活動レポート CSR Report 2009



関東天然瓦斯開発株式会社

目次

Contents

1. 社長メッセージ	3 ページ
2. 会社概要	4 ページ
3. 環境マネジメントシステム	5 ページ
4. 環境方針	6 ページ
5. 平成 20 年度環境目標	7 ページ
6. 平成 21 年度環境目標	8 ページ
7. 環境への取り組み	9 ページ
8. コーポレート・ガバナンス	11 ページ
9. コンプライアンス	12 ページ
10. 安全と品質	13 ページ
11. 社会貢献活動	14 ページ



ガス灯（千葉県茂原市）

社長メッセージ

Message from the President

貴重な国産資源の安定供給を担う企業として
CSR 重視の経営で社会的信頼に応えてまいります



代表取締役社長

吉井正徳

当社は、貴重な国産資源である天然ガスの採取・販売を主たる事業としており、日本初の天然ガス事業会社として、地域の産業と生活の発展に貢献してまいりました。

また、地球温暖化が深刻化するなか、天然ガスは環境負荷の比較的小さい化石燃料として期待を集めており、従来からその拡販を通じ、環境保全に寄与してまいりました。

さらに、ステークホルダーの皆様から一層の信頼を賜るため、当社グループの経営理念・経営方針に基づく事業運営を徹底しているほか、環境マネジメントシステムの国際規格である ISO14001 認証の取得や、事業の適法性と効率性を両立させる企業統治の強化等を実施しております。

今後も健全かつ継続的な事業発展のため、企業の社会的責任を常に意識しながら、貴重な国産資源の安定供給という公共的使命を果たしつつ、コンプライアンス経営の徹底、万全な保安体制の確保、環境に配慮した事業活動の推進を行ってまいります。

グループ経営理念

天然ガスの生産と販売を中核に、快適で豊かな生活の実現と社会の発展に貢献する

グループ経営方針

当社は、掲げたグループ経営理念のもと、5つの経営方針に基づき、グループ全体の事業展開を図ってまいります。

- ・コンプライアンスの遵守
- ・環境との調和、品質と安全の確保
- ・お客様満足の追求
- ・企業価値の向上
- ・チャレンジする職場風土の実現

会社概要

Corporate Information

日本初の天然ガス事業会社として創業以来
地域社会を支える公共的使命を担っています

1. 社名 関東天然瓦斯開発株式会社
(Kanto Natural Gas Development Co., Ltd.)
2. 事業内容 天然ガスの採取・販売、ヨードの製造・販売、かん水の販売
3. 設立年月日 大正6年5月24日
4. 創業年月日 昭和6年5月27日
5. 資本金 7,902,185,320円
6. 主要事業所 本社（東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号）
茂原鉱業所（千葉県茂原市茂原661番地）
吉橋プラント（千葉県八千代市吉橋1820番1）
7. 主要株主 東京電力株式会社（21.3%）、合同資源産業株式会社（15.8%）
8. 子会社 大多喜ガス株式会社、オータキ産業株式会社、関東建設株式会社
KNG AMERICA, INC.、日本天然ガス株式会社、開発興産株式会社
株式会社テクノアース、株式会社房総コンピューターサービス
株式会社上総ボーリング、株式会社新栄エンジニア（以上10社）
9. 上場取引所 東京証券取引所（市場第一部、証券コード1661）
10. 事業地域 天然ガス採掘鉱区：301鉱区（全て千葉県内、6,949,828アール）



環境マネジメントシステム

Environmental Management System

ISO14001 規格に基づくシステムを構築して 環境保全活動を効果的に推進しています

当社は、平成 18 年 11 月に認証取得した ISO14001 規格の要求事項に則り、環境保全活動を効果的に推進するため、環境マネジメントシステムを構築しております。

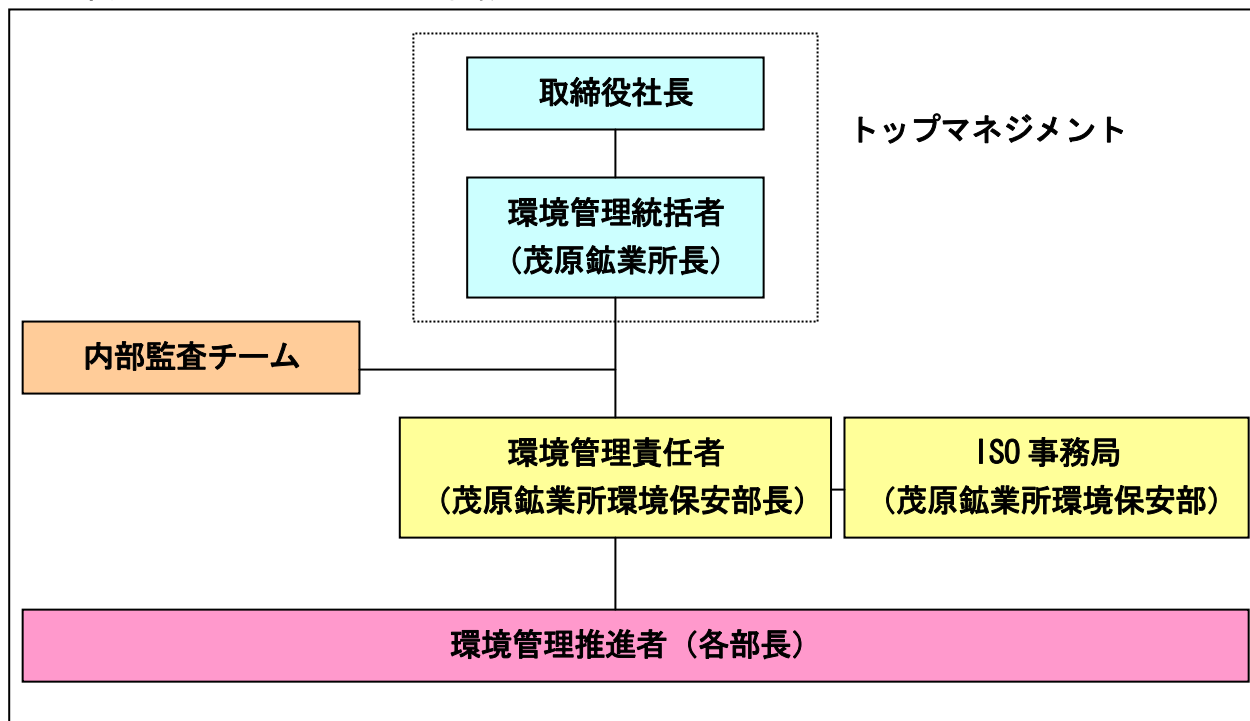
当社における環境保全活動は、全ての役員および従業員を対象とし、その適用範囲を主要な事業所に合わせて、本社、茂原鉱業所、吉橋プラントの3つのサイトに分類しております。



当社の環境マネジメントシステムにおいては、最高責任者を取締役社長、その補佐者を環境管理統括者（茂原鉱業所長）としております。

取締役社長および環境管理統括者（茂原鉱業所長）が指名した環境管理責任者（茂原鉱業所環境保安部長）の指導に基づいて、環境管理推進者（各部長）が各部門毎の環境保全活動に取り組んでおります。

<環境マネジメントシステム組織図>



なお、子会社である大多喜ガス株式会社、関東建設株式会社、株式会社テクノアース、日本天然ガス株式会社においても、それぞれ ISO14001 認証を取得しております。

環境方針

Environmental Policy

事業活動と自然環境との調和を目指して 経営トップ策定の環境方針を徹底しています

当社では、取締役社長の策定による環境方針を以下のとおり宣言し、全ての役員・従業員に徹底するため、社内各所の環境掲示板への掲示、携帯カードの配布、環境教育の実施を行っております。

また、外部の方にいつでもお示し出来るよう、当社のホームページにおいて公開しております。

(<http://www.gasukai.co.jp/corporate/kankyuu.html>)



全役員向け環境教育

環境方針

当社は、「天然ガスの生産と販売を中核に、快適で豊かな生活の実現と社会の発展に貢献する」との経営理念に基づき、我々の事業全般が環境と深く関わっていることを認識し、自然環境との調和を果たすことを宣言し、以下の環境方針を定めます。

1. 当社は、エネルギー資源として環境負荷に優れた天然ガスの利用拡大を図るため、安全で効率的な操業と安定供給に努めます。
2. 当社は、環境方針を達成するため、事業活動における環境関連法規等を遵守し、構築した環境管理システムを継続的に改善します。
3. 当社は、環境負荷を低減するため、事業活動において発生する廃棄物を適正に処理するとともに、省資源・省エネルギーを実現するため、その発生量の抑制とリサイクル化を推進します。
4. 当社は、自然環境と事業活動とのバランスある発展を図るため、汚染の予防、事故等の緊急事態による環境影響の防止に努めます。
5. 当社は、環境方針を達成するため、継続的な教育・啓発活動を実施し、社員の環境意識の向上に努めるとともに、環境保全のための研究・技術開発に取り組みます。

平成 20 年度環境目標

Environmental Target 2008

経営トップによる承認を受けて設定した 環境目標の達成に毎年取り組んでいます

当社は、ISO14001 規格に基づく環境マネジメントシステムにおいて、環境重点管理項目のもとで各部門毎に設定した環境目標の達成に、毎年取り組んでおります。

環境目標は、環境管理責任者（茂原鉱業所環境保安部長）の指示に基づき、環境管理推進者（各部長）が毎年 1 月に作成し、取締役社長と環境管理統括者（茂原鉱業所長）の承認を受けて設定されます。

環境管理推進者（各部長）の監督のもと、各部門にて環境目標の実行計画を推進し、環境管理責任者（茂原鉱業所環境保安部長）による四半期毎のチェック、年 2 回の内部監査によって、その進捗状況が定期的に点検されます。

翌年 1 月には、取締役社長と環境管理統括者（茂原鉱業所長）による「マネジメントレビュー」によって総括とフォローアップが行われます。

このように、環境目標の達成に向けた毎年の活動を通じ、PDCA サイクルによる継続的改善が行われるシステムを構築しております。

環境重点管理項目	環境目標
環境保全 （保安の確保）	環境広報の拡充 保安計画の推進ほか（全 7 項目）
ガスの安定供給 （ガスの拡販）	ガスの拡販 ガス生産量の維持、増産ほか（全 6 項目）
鉱山廃水の適正管理	千葉県との協定を順守した生産管理 （全 1 項目）
温暖化ガスの排出抑制	天然ガス自動車の導入促進ほか （全 3 項目）
環境技術・工法の推進 （環境に配慮した技術・工法の推進）	ガスの漏洩予防対策促進 地盤沈下抑制に関する技術の推進 （全 2 項目）
環境負荷低減 （省エネ・省資源）	廃棄物の適正管理 事務所機能の最適化・集約化 使用済紙資源のリサイクル推進ほか （全 17 項目）

平成 20 年度においては、以上のような環境目標に取り組み、36 項目中 26 項目を達成（達成率 72%）したうえで、更なる改善のための総括とフォローアップを行いました。

平成 21 年度環境目標

Environmental Target 2009

環境目標の前年実績の評価を行ったうえで

PDCA サイクルによる継続的改善を図っています

当社は、平成 20 年度の環境目標に対する達成結果を受けて、各部門において取り組むべき課題を改めて検討した結果、平成 21 年度の環境目標として以下の 33 項目を設定し、その達成に向けて努力しております。

環境重点管理項目	環境目標
環境保全 (保安の確保)	環境広報の拡充 保安計画の推進ほか (全 7 項目)
ガスの安定供給 (ガスの拡販)	ガスの拡販 新規ガス井戸開発の計画通りの推進 生産能力、還元能力のアップほか (全 5 項目)
鉱山廃水の適正管理	千葉県との協定を順守した生産管理 (全 1 項目)
温暖化ガスの排出抑制	天然ガス自動車の導入促進ほか (全 2 項目)
環境技術・工法の推進 (環境に配慮した技術・工法の推進)	ガスの漏洩予防対策促進 (全 1 項目)
環境負荷低減 (省エネ・省資源)	廃棄物の適正管理 使用済紙資源のリサイクル推進ほか 事務用品における環境対応商品の導入推進 (全 17 項目)

ここでは、環境目標において継続的に取り上げており、今後も取り組み続ける必要のあるものとして、廃棄物の適正管理をご紹介します。

廃棄物の適正管理

当社は、廃棄物処理法に基づく廃棄物の適正な管理を行い、3R推進の観点から、排出量の減少と分別の徹底に努めております。

さらに、缶やペットボトル、新聞紙や段ボールのリサイクルを進める一方、会社印刷物やOA用紙への再生紙・FSC認証紙の使用を行っております。



会社構内の廃棄物保管場所

環境への取り組み

Environmental Activities

環境負荷の小さい天然ガスの利用促進を 特に重視した取り組みを行っています

当社は、国産天然ガスのリーディングカンパニーとして、環境負荷の小さい天然ガスの利用促進を特に重視した取り組みを行い、これらを環境目標に盛り込んでおります。

①天然ガスの普及促進

当社の販売ガスの多くを占める千葉県産の天然ガスは、メタンが約 99%を占め、純度の高さと埋蔵量の多さを誇っており、地球温暖化の原因となる二酸化炭素や大気汚染の原因となる窒素酸化物の燃焼時排出量が、石炭や石油に比べて圧倒的に少ない非常にクリーンなエネルギーです。

千葉県では、当社を含め8社が天然ガスの生産を行っており、県内 50 万世帯以上（1戸当たり都市ガス使用量換算）の生活を支えています。

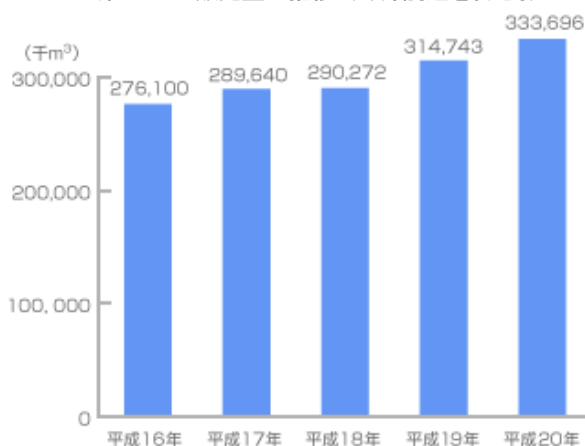
県内生産量の約 40%を占める当社は、他の化石燃料に比べ環境負荷の小さい天然ガスの普及促進を、事業と環境に同時に寄与するものと捉えて取り組んでいます。



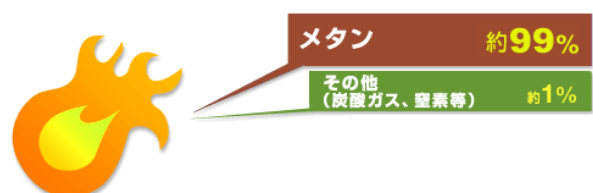
出典①「IEA (国際エネルギー機関) Natural Gas Prospects to 2010」(1986)

②「エネルギー総合工学研究所 火力発電所大気影響評価技術実証調査報告書」(1990.3)

当社のガス販売量の推移 (外部調達を含む。)



千葉県産の天然ガスの組成



- 発熱量: 約39MJ/m³
- 比重: 空気1に対し0.56

②環境に配慮した天然ガス開発の推進

当社が開発している千葉県の天然ガスは、地下のかん水に溶け込んでいる水溶性ガスであることから、その採取には地下水の汲み上げを伴います。

そこで当社は、自主的な生産量の抑制や効率的な開発計画の立案、採取技術および排水浄化技術の研究等に加え、天然ガスを生産するための「生産井」のほかに「還元井」を掘さくし、汲み上げた地下水の一部を地中深くに戻す取り組みを行っております。

こうした取り組みを通じて、当社の事業地域である千葉県との間で締結している地盤沈下防止協定や、水質に関する排水規制を遵守しながら、地域の皆様に安心していただけるよう、環境に配慮した開発を推進しております。



ガス井掘さく用のやぐら

③天然ガス自動車の導入推進

天然ガス自動車は、ガソリン自動車に比べて二酸化炭素や窒素酸化物の排出の少ない低公害車として普及が進んでおります。

当社の事業地域では、千葉県茂原市に所在する茂原鉱業所に、子会社のオータキ産業が天然ガススタンド（エコステーション）を併設しております。

当社は、平成24年度中に社有車の20%以上が天然ガス自動車となるよう導入を進めており、平成20年12月末現在で、社有車50台中6台が天然ガス自動車となっております。

さらに、天然ガス自動車以外の低排出ガス車の導入も積極的に行い、事業用車両による環境負荷の低減に努めてまいります。



天然ガススタンド（千葉県茂原市）



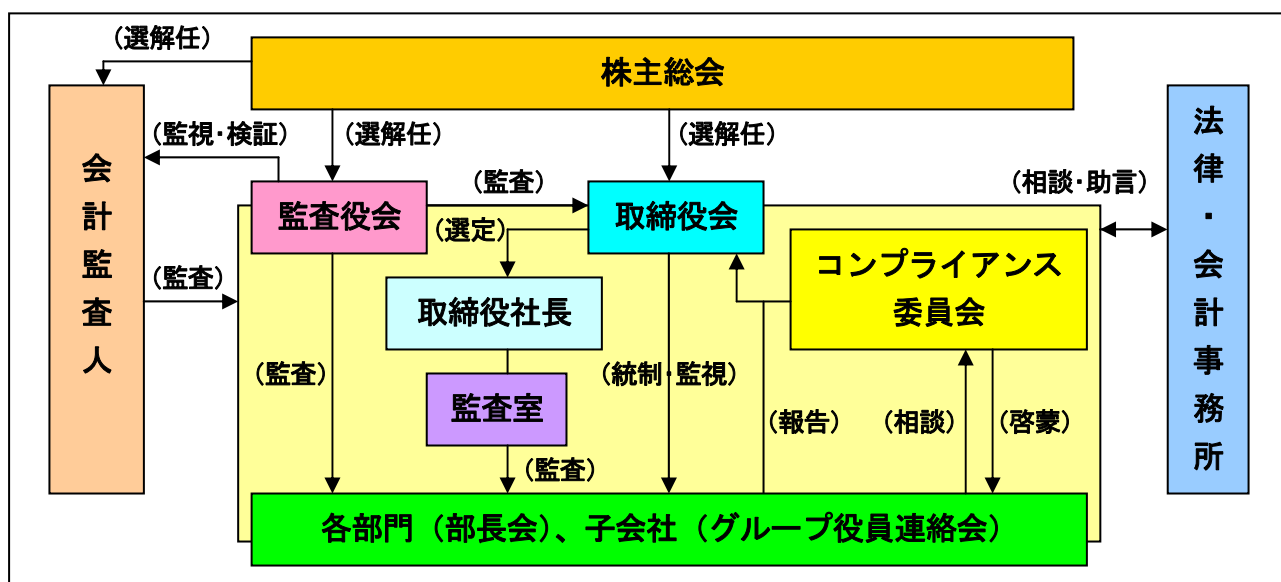
天然ガス自動車（社有車）

事業運営の適法性と効率性の確保のため

企業統治体制の充実に注力しています

当社は、規制緩和の進展により経営環境が大きく変化するなか、基盤産業に携わる者として、「迅速かつ的確な意思決定の可能な経営機構の整備」と「社会からの揺るぎない信頼の確立」を、コーポレート・ガバナンスの主たる目的としております。

当社は、取締役会が定める業務の適正を確保するための体制の整備に関する基本方針のもと、取締役および監査役を中心とした内部統制システムおよびリスク管理体制を確立し、事業運営の適法性と効率性を確保しております。



<取締役会>

会社の業務執行にかかる意思決定および取締役の職務執行の監督に関して、取締役8名が適正な実施に努めております。なお、社外取締役は、現在選任しておりません。

<監査役会>

監査役4名（うち社外監査役2名）が協力し、会計監査人と情報交換、意見交換を随時行いながら、策定した監査方針および監査計画に基づいて、取締役会における意思決定および取締役の職務執行等を監査しております。

<監査室>

金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制および従業員の職務執行等の内部監査を行うため、取締役社長の直轄組織として設置しております。

<コンプライアンス委員会>

取締役8名全員で構成し、遵法精神と企業倫理に基づいた事業活動の徹底に努めております。

コンプライアンス

Compliance

コンプライアンス委員会を中心に 法令遵守の徹底に努めています

当社は、国際化の進展を背景としたコーポレート・ガバナンス強化の波に対応して、企業リスクの最小化や、社会的信頼と企業価値の向上を図る観点から、平成15年12月にコンプライアンス体制の更なる整備を行いました。

具体的には、当社グループにおけるコンプライアンス基本方針を以下のとおり宣言し、役員・従業員一人一人の行動指針として、32項目から成るコンプライアンス行動規範を策定しております。

また、取締役社長を委員長、取締役を委員とするコンプライアンス委員会を設置し、総務部を事務局として、遵法精神と企業倫理に基づく事業活動の徹底にあたるとともに、社内相談窓口として、コンプライアンス推進担当者を職場に配置いたしました。

なお、法令遵守の徹底のための活動としては、全ての役員・従業員を対象とした講演会やアンケートのほか、管理職および新入社員向けの研修等を毎年実施しております。

グループコンプライアンス基本方針

(信頼の確立)

貴重な資源の供給およびそれに関連する事業に携わる者として、社会的責任と公共的使命を常に認識し、健全な事業活動を通じて揺るぎない信頼を確立します。

(安全と品質、サービスの追求)

安全と品質の確保に万全の体制で取り組み、お客様への質の高いサービスの提供に努めます。

(法令等の遵守)

あらゆる法令やルールを遵守して社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な事業活動を行い、市民社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力との関係を一切遮断します。

(社会とのコミュニケーション)

社内外の未発表情報の管理を徹底して漏洩、不正使用を防止する一方、広く社会とのコミュニケーションに努め、企業情報の適宜かつ公正な開示を行います。

(良き企業市民としての行動)

事業活動と地球環境との調和、共存に努めるとともに、「良き企業市民」として社会貢献活動に積極的に参加します。

安全と品質

Safety & Quality

地域社会やお客様の信頼に応えるべく
安全と品質の確保に尽力しています

①ガスの安全管理と安定供給

当社の主たる事業であるガス事業の最優先事項が、安全管理と安定供給です。

当社では、各工程での最適な施策や設備機器の確かさに加えて、全体を貫く制御システムを完備して、生産の始点である井戸から、網の目のように張り巡らされたパイプラインまで、365日24時間体制の監視と制御を行っております。

さらに、季節や時間帯によって変動する需要に合わせ、生産や送出についても、集中コントロールしております。

また、パイプラインネットワークは複数の系統で構成され、万一トラブルが発生しても、周辺のバルブ制御により、別系統からガスを供給できるシステムを構築しております。

さらに、自社生産の天然ガスのほか、複数のガス仕入先の確保やガス源の多様化を行っており、ガス源のベストミックスによる安定供給が可能な体制を築いております。



②ヨードの品質管理

当社事業のもう1つの柱であるヨードは、世界生産量の約1/3を日本が占める大変貴重な資源であり、国内生産量の8割超を千葉県が占めております。

当社は世界有数の生産者として、天然ガス採取の付随水であるかん水に豊富に含まれるヨードを抽出し、その大部分を製品化技術の進んだ欧米に輸出しております。



平成7年3月には、品質保証に関する国際規格であるISO9002（平成14年5月にISO9001:2000に移行）認証をヨード製造で取得する等、お客様から確固たる信頼を築いております。



社会貢献活動

Social Contribution

良き企業市民・社会の公器として 様々な社会貢献活動を行っています

当社は、株主、顧客、取引先、地域社会等のステークホルダーの皆様から信頼される企業であり続けるため、様々な活動を行っており、ここでは8つの事例をご紹介します。

①ヨード支援活動への協力

ヨードは、人体の生育に必須の元素であり、日本人は海藻や魚介類から必要量を自然に摂取しておりますが、内陸国等の海産物の摂取が少ない地域においては、ヨード不足による発育不全で苦しんでいる方々があります。

そこで当社は、世界有数の生産者として、国際機関のヨード支援活動に協力しており、平成9年度から13年度にはモンゴルに、平成18年度から21年度にはカンボジアに、千葉県と業界団体を通じた支援を行っております。



精製ヨード

②大規模災害被災地への見舞金の寄付

国内外の大規模災害の被災地等に、人道的見地から見舞金をお送りしております。

なお、平成20年度においては、ミャンマーサイクロン被害、中国・四川大地震、岩手・宮城内陸地震の被災地に対する見舞金の寄付等を行いました。

③会社見学・インターンシップの受入れ、講師の派遣

当社の事業拠点である茂原鉱業所において、一般市民や学生等の方に、当社事業および千葉県の天然ガスとヨードに関する知見を深めていただくため、会社見学やインターンシップを受け入れております。

さらに、学校主催の「出前教室」等に対しても、要請に応じて講師を派遣しております。

なお、平成20年度の会社見学については、約20回の受入れを行いました。

会社見学等をご希望される方は、本レポートの裏表紙記載の茂原鉱業所総務部までお問合せください。



④茂原七夕まつりへの参加

当社の事業拠点である茂原鉱業所が所在する千葉県茂原市において、いわゆる日本三大七夕まつりの1つ、茂原七夕まつりに100名規模のガス連として毎年参加し、地元の夏の風物詩である「もばら阿波おどり」を披露して、ご好評をいただいております。



⑤白子チューリップ祭りへの参加

当社の開発地域である千葉県長生郡白子町で開催される白子チューリップ祭りに毎年参加し、工夫を凝らして植えた花々を楽しんでいただいております。



⑥近隣河川の環境保全活動への協力

当社の開発地域である千葉県長生郡市を流れる河川の環境保全活動に協力しており、地域の皆様とともに自然環境を守るため、河川周辺の清掃等にも参加しております。



⑦献血活動への協力

当社の事業拠点である茂原鉱業所において、日本赤十字社・千葉県赤十字血液センターの献血活動に毎年2回協力し、輸血を必要としている方々の支援を行っております。



⑧古紙回収への協力

当社の事業拠点である茂原鉱業所において、使用済の新聞や段ボール等を、千葉県茂原市内の小学校の古紙回収に提供しており、その売上げは、児童のための備品購入資金として役立てられております。





関東天然瓦斯開発株式会社

茂原鉱業所総務部

〒297-8550 千葉県茂原市茂原 661 番地

TEL 0475-23-1313 FAX 0475-24-3330

URL <http://www.gasukai.co.jp/>